

<マンハッタン視察コラム> 2018年6月末日 石上 忠男

米国の納税手続・所有不動産の相続時の対応・マンハッタンの不動産事情等視察に2018年6月11日に羽田を出発しました。

JFK空港に午前に着き、その後ブロードウェイを散策しました。やはり渋谷の3倍の人波！

2日目の日系のA不動産は4年前に1度NYで会った人で、NYの物件資料を受け取り約1時間のレクチャーを受けました。

3日目は、グランドセントラル駅近くの弁護士事務所に向かいましたが空港並みの身体検査がありました。

担当弁護士は40歳前後の日系ハーフで、一見ヒッピー風でしたが、たどたどしい日本語でソウカ・ソウカと話し始めたので事情を聞くと、彼の祖父が元草加市長であることが分かり驚きました。

私はいつも外国へ行く時は、ドンキでマニアックな変態物等の土産をたくさんプレゼント用に持って行きます。

非居住者の米国物件の相続対策の検討をしましたが、明確な回答を得る事は出来ませんでした。

その後、米国税理士と申告等の確認作業をしましたが、日米国の処理には多少問題が残りました。

4日目は、先日のA不動産の紹介物件を約10件（マンハッタン・クイーンズ）見ましたが当方が望んでいるものとは、大きな差がある事と、業者の信頼に疑問を感じました。気温が32度と暑く、普段歩かない私には大変でした。

毎日10000歩以上連日頑張りました。

5日目は、午後からシティバンクの口座開設の為にBKを訪問し、日本語担当は不在でしたが手続きを終了しました。

6日目は当方所有物件の周囲からミットタウン迄の地域を調査しました。地下鉄は古く30年前のレベルと同じでした。

しかし、日本人が米国人に負けるのは体とIT普及度です。しかし、日本人の化粧は勝ってます!!

おもらいさんは車内にはいませんが道路には100mに1人は座っておりました。

7日目は、6/19（火）のヤンキースvsマリナーズの試合のチケットをショップで取得し、その際一番人気のジャッツのユニフォームを購入しました。その後HISの新情報をスマホで確認し、6/17（日）のハドソンリバー郊外のワイナリーのツアーを申込みました。出来ればワシントンDCのツアーを希望していたのですが、満員でした。

途中トランプタワーに入館しましたが、ポリスだらけでした。

8日目は約150km先のハドソン川流域のワイナリー2件で試飲を十数杯頂き酔ってしまった。土産はその都度珍しいものを買いました。

9日目は夕方からヤンキーススタジアムに地下鉄で向い、ジャッツのユニフォーム99番を着て歩いていると、球場は反対方向ですと声を掛けられました。場内カフェでジョッキを飲み干しスタンドに一番乗りしました。イチローとマー君が元気でした。

8回途中で球場を出て、地下鉄に乗り込みました。日本のラッシュ時と同レベルのすし詰め状態でした。

23時頃にホテル近くの駅でおりましたが、まだ路上ライブを楽しんでいる人がいました。

最終日は夕方発の便に間に合うよう14:00にホテル前からタクシーを拾いました。今回の睡眠は平均4時間位で疲れました…

※今回、NYに向かう前にLINEの使い方を社員に教えてもらい、毎日の交信が大変楽でした。（電話・メール・FAXより）

※今回の旅で行き帰り共に日米の若い男子から重い荷物を進んでサポートしてもらえたことは、手助けが必要と見えるのでしょうか。